

平成 24 年度 日本保健物理学会賞受賞候補者推薦の募集について

平成 24 年 1 月 17 日

学会賞選考委員会

(社)日本保健物理学会では定款第 4 条第 8 号に則り、本会に関連する学術上又は技術上の優秀な成果並びに本会及びわが国の保健物理の発展に多大の功績のあったと認められる者に対して学会賞を授与しています。平成 24 年度は功労賞、論文賞、貢献賞、奨励賞および学生研究優秀賞の表彰を行います。このうち、功労賞、貢献賞、奨励賞については、広く会員から候補を募集することにします。なお、論文賞の候補の選出は編集委員会が行います。また、学生研究優秀賞は大学等教員協議会による一次選考を行います。

つきましては、学会賞の推薦書を下記の要領で学会事務局までお送りください。

記

1. 推薦書の締切:平成 24 年 2 月 29 日(水)(必着)
2. 受賞資格:功労賞、論文賞、貢献賞、奨励賞にあつては会員。
学生研究優秀賞にあつては正学生会員(大学および大学院学生並びにこれに準じる学校に在籍する学生(社会人学生であつて大学院に在籍する学生は除く))
3. 賞の種類等
 - (1) 論文賞 学会誌「保健物理」に掲載された、投稿規則における B 区分のうち原著論文、ノート、資料及びレポート並びに C 区分のうち Original Paper, Note, Technical Data 及び Report で、特に独創性や新規性のある優れたものを対象とする。選考にあたっては、原則として直近1年間(Vol.46 No.1~Vol.46 No.4)を対象にする。複数の会員が共同でなした成果であっても、受賞者は原則として1件あたり3名以内とする。3名を超えた受賞者に贈呈する賞は有償となる。
 - (2) 奨励賞 直近1年間の学会誌「保健物理」に掲載された論文等や学会資料の著者及び研究発表会等での発表者(平成 24 年 4 月 1 日現在で 35 歳以下の若手で将来性があると見込まれる会員。)を対象とする。なお、当該年の論文等や学会資料あるいは口頭発表の内容のみならず、保健物理分野または保健物理学会への貢献についての将来の期待性等も評価し、学会での委員会及び専門研究会等の活動状況、保健物理分野での活動状況、並びに過去の学会誌(保健物理や他学会誌)への発表等も考慮することができる。特に、正学生会員及び準学生会員も対象とするよう配慮する。
 - (3) 功労賞 学会の運営・発展に特に貢献のあった学会長、副会長、企画委員長、編集委員長、特に重要な委員会委員長等の経験者で、通算複数期歴任した会員、又は ICRP 等、行政府委員会(原子力安全委員会専門委員、放射線審議会委員等)で保健物理分野の発展に特に貢献した会員を対象とする。
 - (4) 貢献賞 以下の分野で貢献のあった者を対象とする。①長年保健物理分野(研究、実務、教育等)で特に優れた貢献のあった会員、②企業・メーカー等で保健物理に関する秀逸な機器を

開発した会員、③現場の放射線管理で特に優秀であった会員及び④学会の運営等に係る実務において特に貢献のあった会員。

- (5) 学生研究優秀賞 保健物理を学ぶ学生の向学心向上と優秀な学生の育成を目的とし、保健物理分野の研究に精勤し所期の成果を挙げ、保健物理分野の発展に寄与すると思われる優秀な研究に賞(表彰状のみ)を授与する。対象研究は今年度に公表された、または公表予定の卒業論文などの研究論文で保健物理にかかわるものとし、下記の2種を対象とする。
 - 1) 卒業研究: 卒業論文または修士論文または博士論文。学校内の中間発表資料で可。
 - 2) 論文: 筆頭著者が学生で掲載されたか掲載が決定している論文(査読あり)。
4. 募集方法: 論文賞については、一次選考は編集委員会が行い、一次選考で選ばれた論文の著者へ推薦する旨を伝える。推薦を受諾する著者は推薦書を作成し、提出する。奨励賞、功労賞及び貢献賞については、正会員又は賛助会員代表者の推薦による(自薦・他薦を問わない)。学生研究優秀賞については、大学等教員協議会が一次選考を行い、学会賞選考委員会へ推薦する(一次選考の詳細は別紙「学生研究優秀賞 一次審査について」参照)。応募は、所定の推薦書に必要事項を記入し、正本1部、コピー1部及び論文別刷などの参考資料各2部を学会事務局へ送付または持参する(推薦書のフォーマットは学会ホームページに掲載する)。表彰は原則として各賞とも2件以内とする。ただし、いずれの賞も該当する対象がないときは授与しないものとする。また、学会賞の選考に関する規則等は、学会ホームページに掲載されている学会賞選考委員会運営規則及び同細則を参照のこと。
5. 選考: 各賞については学会賞選考委員会で候補者の選考を行う。選考委員会は、推薦書及びその添付資料に基づき各賞毎に定量的に評価するとともに、論文賞及び奨励賞については別に指名する書類審査委員の評価結果を参考にして選考を行う。選考の結果は理事会へ報告し、理事会で最終的に受賞者を決定する。評価項目は学会ホームページに掲載する。なお、委員会委員及び書類審査委員が受賞候補者及び推薦者となった場合は、該当する学会賞区分に関わる審査には加わらないこととする。
6. 授与式: 学会賞の授与式は、平成24年6月16日(土)(予定)に開催される第52回日本保健物理学会総会において行う。(於: 名古屋大学東山キャンパス: 名古屋市千種区不老町)
7. 推薦書の送付先: 〒105-0004 東京都港区新橋4-29-6 寺田ビル 7階
(株)国際広報企画内 日本保健物理学会事務局
TEL: 03-6450-1890 FAX: 03-6450-1891 E-mail: jhps@iips.co.jp
8. 問い合わせ先: 近江 正(日本保健物理学会 学会賞選考委員会 事務局)
TEL: 03-6371-7741, FAX: 03-5217-5514, Email: tadashi-oumi@japc.co.jp

(社)日本保健物理学会賞受賞候補 評価項目の例

【論文賞】

1. 課題や内容の妥当性(学術的・技術的な寄与、プロセス及び努力の程度、成果):研究開発のみならず管理実務への応用の観点も含めて、課題や内容(学術的・技術的な寄与、プロセス及び努力の程度、成果)がいかに妥当で価値を有するものであるか評価する。
例)課題や内容が新しい知見等も踏まえて極めて妥当で且つ有効な価値を有する、既存の知見等と比べて著者としての新たな寄与が見られ課題や内容が妥当など。
2. 論文の独創性・新規性:候補者の論文等の独創性・新規性に関して評価する。
例)研究開発のみならず管理実務への応用の観点も含めて極めて独創性及び新規性に富む、新しい発想や着眼点が見られる、既存のアイデア等に基づくなど。
3. その他の特記事項

【奨励賞】

1. 成果:対象となる論文等の新規性、有効性等の成果を評価する。
例)対象となる論文等の成果が極めて新しい発想やアイデアに基づいており、また有効と思われる、既存の知見等と比べて新たな寄与が見られ成果の活用が期待される、既存のアイデアに基づくなど。
なお、本成果に関連する過去の学会誌(保健物理や他学会誌)への発表がある場合には、その成果も参考とする。
2. 将来性:成果が将来の放射線防護の研究開発及び管理実務等に与える影響(期待)を評価する。
例)放射線防護の研究開発及び管理実務等に大きな影響や効果を及ぼす、放射線防護の特定の分野で成果が有効に活用(反映)できる、今後の応用研究等が期待できるなど。
3. 学会活動:学会での委員会及び専門研究会等の活動状況、保健物理分野での活動状況を評価する。
4. その他の特記事項

【貢献賞】

1. 貢献度(重要性、有効性、放射線管理及び学会活動への貢献)についての評価
主な対象分野別の評価項目例)
 - (1)重要性(保健物理分野の研究、技術、管理、教育等における発展、確立等に対する業績の重要度)
 - (2)有効性(研究、教育、開発機器等に関する業績が社会へ貢献した程度、または管理に関する業績が事業所または社会の安全確保に貢献した程度)
 - (3)放射線管理への貢献(業績を達成するために工夫した点、困難さを克服した程度)
 - (4)学会活動への貢献(当該活動が学会に貢献を果たした程度、活動の期間や特殊性、積極性)
2. その他の特記事項

以上

平成 24 年度 日本保健物理学会 学生研究優秀賞 一次審査について

平成 24 年 1 月 17 日
大学等教員協議会

1. 名 称 学生研究優秀賞
2. 賞の主旨 保健物理を学ぶ学生の向学心向上と優秀な学生の育成を目的とし、保健物理分野の研究に精勤し所期の成果を挙げ、保健物理分野の発展に寄与すると思われる優秀な研究に賞を授与する。
3. 対象研究 今年度に公表された、または公表予定の卒業論文などの研究論文で保健物理にかかわるものとし、下記の 2 種を対象とする。
 - 1) 卒業研究: 卒業論文または修士論文または博士論文。学校内の中間発表資料で可。
 - 2) 論文: 筆頭著者が学生で掲載されたか掲載が決定している論文(査読あり)。
4. 対象学生 大学院博士課程(後期博士課程)、修士課程(前期博士課程)、大学学部、高等専門学校などの学生の会員を対象とする。
5. 応募 自薦または会員である指導教員の推薦により応募用紙に記入の上、資料を添えて送付する。募集期間は学会賞と同じとする。
6. 審査 大学等教員協議会が一次選考を行い、学会賞選考委員会へ推薦する。賞選考委員会において、審議の上選定する
7. 賞の数 修学レベルを 4 レベルとする。大学院博士課程・修士課程・学部・その他(工業専門学校等)。応募の中から 4 件(修学レベルごとに 2 件程度を上限とする)を学会賞選考委員会へ推薦する。
8. 公表 他の学会賞と同じ
9. 賞品 賞状を授与する。
10. 本賞は他の学会賞と同時に受けることはできない。

以上